



広報紙“ここフリ”誕生！！

福島市は、誰もが安心して暮らせる「共生社会」を目標に、バリアフリー推進パートナーの皆さんと共に、ハード・ソフト両面のバリアフリーに日々取り組んでおり、その中でも特に【心のバリアフリー】に力をいれています！！

この度、『誰にでもやさしいまち ふくしま』の実現に向けて、市全体に【心のバリアフリー】を広めるため、私たちの身近にあるバリアフリーに関する様々な取り組みについて発信・共有する広報紙を作成しました！！タイトルは、

『今「ここ」から、「個々」のペースで進める【心のバリアフリー】』から、
“ここフリ”と名付けました。

現在の地域福祉計画を作る際に行った市民アンケートの結果によると「手助けしたいが、一歩が踏み出せない/方法がわからない」という回答が7割を超えた。思いやりの心を行動に移すための第一歩は、「知ること&気づくこと」です。

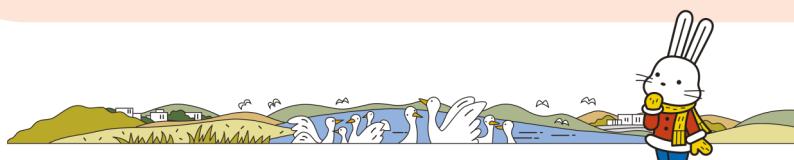
“ここフリ”がそのきっかけとして、お役に立てればと思います。

一人ひとりの思いやりのある行動が『誰にでもやさしいまち ふくしま』の土台となります！ぜひ、あなたの身近な家族や友人、職場の仲間と一緒に、皆さんで“ここフリ”をご覧ください♪



《ことばの解説》

- ◆共生社会：障がいの有無や性別、年齢、国籍等によって分け隔てなく、相互に人権と個人を尊重し合い、ともに支え合う社会のこと。
- ◆バリアフリー推進パートナー：バリアフリーの推進に関する市の取り組みの趣旨・目的に賛同し、連携・協力いただける民間事業所・団体様のこと。
- ◆ハード面：交通、施設、設備、機器の整備などに関すること。
- ◆ソフト面：人材、技術、文化、情報、意識などに関すること。
- ◆心のバリアフリー：ソフト面の中でも「様々な心身の特性や考え方をもつすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり支え合う」こと。



裏面も
ご覧ください♪



『知る？知る！
心のバリアフリー』
コーナー

< 4つのバリア（壁）を知っていますか？>

～いろいろな人に寄り添うことで
見えてくる「バリア」があります～

1

物のバリア（ハード面）

出入り口や通路などに段差があつて車いすでは進めなかつたり、階段しかなくて足の不自由な人には上がりにくくい建物など、「物」によって不便が生まれるバリア。

2

決まりのバリア (ソフト面)

社会の決まりによって、障がいなどがあることを理由に制限されたり、機会の均等を奪われているバリア。

3

文化・情報のバリア (ソフト面)

文字表示のみだつたり、日本語だけだつたり、音声のみだつたり、情報の伝え方が十分でないために、欲しい情報が平等に受け取れないバリア。

4

心（意識）のバリア



周囲からの心ない言葉、偏見や差別、無関心など。
障がいなどに対する誤った認識や無理解、気づかないことから生まれるバリア。

ご報告

福島市「心のバリアフリー」推進強化月間 &推進キャッチフレーズについて

福島市は「心のバリアフリー」のさらなる普及促進のため、今年度の新たな試みとして、「推進強化月間」を定めると共に、「推進キャッチフレーズ」を決定いたしました！

心のバリアフリー
推進強化月間

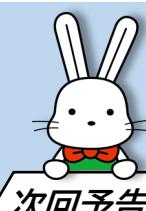
『10月』

福島市「心のバリアフリー」推進キャッチフレーズ
きょうせい まな むげんだい
『 共生、学びは無限大 』

キャッチフレーズは小学4年生から中学生までを対象に募集しました。応募総数117点の中から、最優秀賞に輝いた福島第二中学校3年生遠藤 慧さんの作品が福島市「心のバリアフリー」推進キャッチフレーズに選ばれました！

今後は【共生、学びは無限大】を合言葉に「心のバリアフリー」を広く発信していきます！

福島市のバリアフリー
の取り組みについて、
詳しくはこちらのQR
コードから！ → → →



「ここフリ 第2号」は、
令和5年3月頃発行予定です。
『「心のバリアフリー」推進隊』や
『「心のバリアフリー」出前講座』
について紹介いたします☆